

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅱ

教科：芸術 科目：書道Ⅱ 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～5組  
 教科担当者：（1組：山本）（2組：山本）（3組： ）（4組：山本）（5組：山本）（組： ）  
 使用教科書：（東京書籍 書道Ⅱ）  
 教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術Ⅰで身につけた基礎的・基本的な知識をもとに、技術的な応用を芸術に生かすことができる。

【思考力、判断力、表現力等】芸術Ⅰの授業で得た知識や技能を用い、自らの力で判断し、改善しながら表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】どのようなジャンルにおいても積極的に取り組み、表現する楽しさを体験させ、生涯において芸術を味わう感性を養う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解し、書の伝統に基づき効果的・創造的に表現するための基礎的な技能を身に付ける	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫し、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉える	主体的に書の幅広い活動に取り組んでいき、書を愛好する心情を育み、書の伝統と文化に親しみをもち、書を通して心豊かな生活や社会を創造する態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 漢字の書 【知】 ・漢字の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 ・漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、漢字の古典の線質、字形や構成を生かした表現等を学ぶ。 【思】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫する。 ・漢字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わう。 【態】 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする態度を養う。	・篆書の古典	単元 漢字の書 【知】 ・漢字の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、漢字の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・漢字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	単元 篆刻 【知】 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について学ぶ。 【思】 ・自身の表現の意図に基づく表現、篆刻の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現を工夫する。 ・篆刻のよさや美しさを感じ、篆刻の意味や価値について考える。 【態】 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする態度を養う。	・篆刻作品の鑑賞 ・篆刻作品の制作	単元 篆刻 【知】 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思】 ・自身の表現の意図に基づく表現、篆刻の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現を工夫している。 ・篆刻のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えている。 【態】 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	単元 漢字の書 【知】 ・漢字の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 ・漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、漢字の古典の線質、字形や構成を生かした表現等を学ぶ。 【思】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫する。 ・漢字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わう。 【態】 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする態度を養う。	・漢字の古典 隸書、草書、行書、楷書 ・漢字作品の創作	単元 漢字の書 【知】 ・漢字の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、漢字の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思】 ・漢字の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・漢字の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】 ・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18

	<p>単元 仮名の書</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わり</li> <li>・ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化</li> <li>・ 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、仮名の古典の線質、字形や構成を生かした表現等を学ぶ。</li> </ul> <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫する。</li> <li>・ 仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わう。</li> </ul> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の古典</li> <li>・ 仮名作品の創作</li> </ul>	<p>単元 仮名の書</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>・ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。</li> <li>・ 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、仮名の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</li> </ul> <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。</li> <li>・ 仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> </ul> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	10
3 学 期	<p>単元 漢字仮名まじりの書</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり</li> <li>・ 名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり</li> <li>・ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり</li> <li>・ 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能等を学ぶ。</li> </ul> <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。</li> <li>・ 創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わう。</li> </ul> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字仮名まじりの書の鑑賞</li> <li>・ 漢字仮名まじり作品創作</li> </ul>	<p>単元 漢字仮名まじりの書</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>・ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。</li> <li>・ 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</li> <li>・ 創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> </ul> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
	<p>単元 刻字</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について学ぶ。</li> </ul> <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身の表現の意図に基づく表現、刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現を工夫する。</li> <li>・ 刻字のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考える。</li> </ul> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刻字作品の鑑賞</li> <li>・ 刻字作品の制作</li> </ul>	<p>単元 刻字</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。</li> </ul> <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身の表現の意図に基づく表現、刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現を工夫している。</li> <li>・ 刻字のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えている。</li> </ul> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○	8
							合計
							70